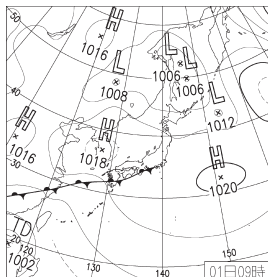


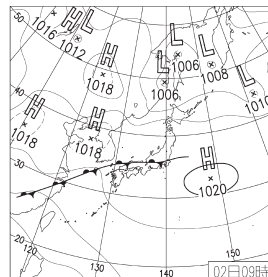
日々の天気図

— No. 212
2019年9月

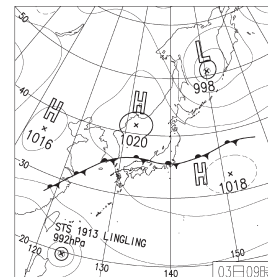
- ・4日夜～6日朝、三重県で二夜連続の猛烈な雨、河川氾濫等発生。
- ・9日、台風第15号の通過に伴い、伊豆諸島や関東地方南部で猛烈な風を襲う。千葉県で長期停電、横浜市で高波による浸水被害等発生。
- ・30日夜、台風第18号の影響で八重山地方で猛烈な風や記録的な大雨。
(気象庁予報部予報課)



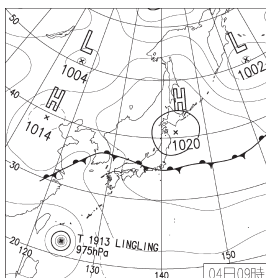
1日(日)東日本太平洋側は残暑
西日本～北陸は秋雨前線の影響で曇りや雨。北日本は気圧の谷の影響により所々で雨。東日本太平洋側は概ね晴れて気温が上昇。千葉県鴨川で最高気温34.9℃など厳しい残暑。



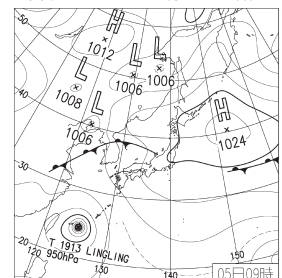
2日(月)本州付近に前線停滞
秋雨前線が停滞し西日本や北陸～東北は雨。北海道は気圧の谷の通過で午後には雨。東日本太平洋側は前線の影響が弱く、概ね晴れ。フィリピンの東の海上で台風第13号が発生。



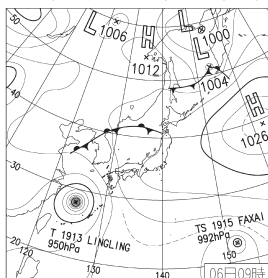
3日(火)大気の状態が不安定
山陰沖から北日本に秋雨前線が停滞。南から暖かく湿った空気が入って西日本～東日本は大気の状態が不安定。局地的な大雨により横浜市や岡山県新見市で土砂災害や浸水害。



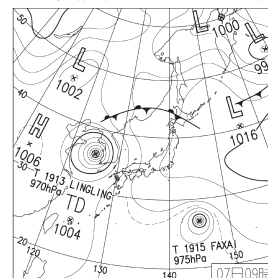
4日(水)西～東日本で激しい雨
沖繩は台風第13号の影響で雨。西日本～東北南部は、山陰沖から東日本に停滞する前線の影響により大気の状態が不安定で雨や雷雨。高気圧に覆われた東北北部～北海道は晴れ。



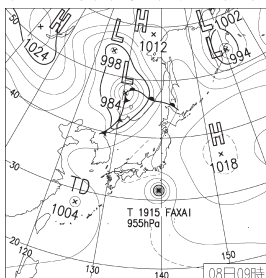
5日(木)台風第13号先島諸島へ
沖繩は非常に強い台風第13号が北上し大荒れ。沖繩県下地47.7m/sなど3地点で猛烈な風。西～東日本は暖かく湿った空気により大雨の所も。三重県四日市105mm/1hは史上1位。



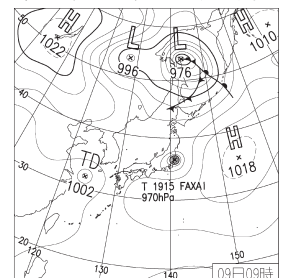
6日(金)西日本各地で猛暑日
台風第13号や湿った空気の影響で沖繩～四国は雨。北日本は前線の接近で次第に雨。西日本は気温が顕著に上昇。最高気温は、兵庫県豊岡と鳥取県境で35.8℃など猛暑日の所も。



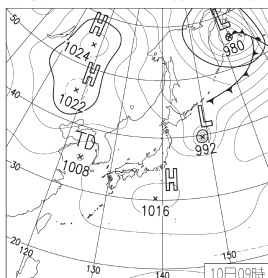
7日(土)奄美・四国で短時間大雨
台風第13号が黄海を北上し、南から湿った空気の流れ込む。高知県三崎76mm/1hは9月1位、鹿児島県笠利73.5mm/1h、本州は概ね晴れ。西日本～東日本は猛暑日続く。



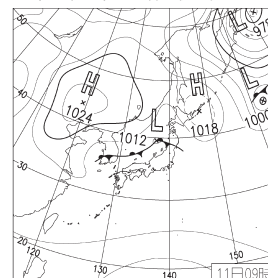
8日(日)東北でも猛暑日に
日本海側中心に晴れて、新潟県中条で38.0℃など西日本～東北の全国62地点で猛暑日。非常に強い台風第15号が関東の南の海上を北上。東京都神津島で最大瞬間風速58.1m/s。



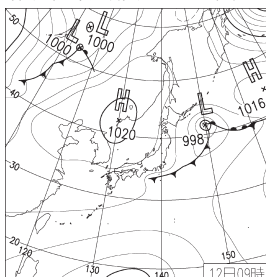
9日(月)台風第15号関東上陸
強い台風第15号は三浦半島を通過後、明け方に千葉県付近に上陸。静岡県天城山で109mm/1hの猛烈な雨。千葉の最大風速35.9m/s、最大瞬間風速57.5m/sは共に史上1位を更新。



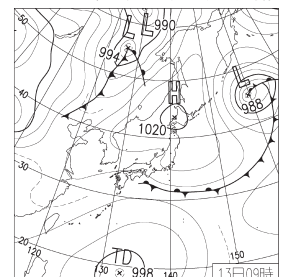
10日(火)東海や関東で猛暑日
高気圧に覆われ全国的に晴れて気温上昇。東海～関東を中心に全国79地点で猛暑日となり、16地点で9月の1位の値に。午後は雷雨の所多く茨城県坂東で83mm/1hの猛烈な雨。



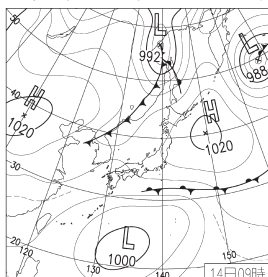
11日(水)西～北日本各地で雷雨
低気圧が北日本を東進し、低気圧に伴う前線が本州付近を通過。西日本～北日本は大気の状態が非常に不安定で、各地で雷雨。兵庫県姫路では夕方58.5mm/1hの非常に激しい雨。



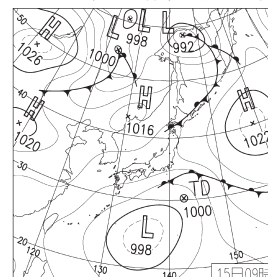
12日(木)前橋市アキアカネ初見
寒冷前線の通過後、日本付近は沿海州の高気圧に覆われ全国的に晴れや曇り。湿った空気の残った西日本～東日本太平洋側や、気圧の谷の影響を受けた北日本の所々で雨や雷雨。



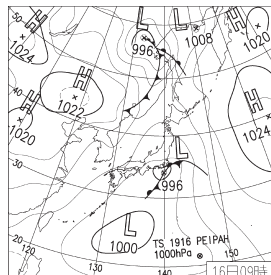
13日(金)西日本に気圧の谷
西日本は、湿った空気や気圧の谷の影響で四国～近畿を中心に雨。和歌山県色川では62.5mm/1hの非常に激しい雨。日降水量は246.5mm。北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。



14日(土)高気圧日本の東に移動
高気圧に覆われ晴れた所が多かったが、高気圧の縁を回る湿った空気の影響で西日本～東北の太平洋側と北海道は曇りや雨。東京の最低気温は19.5℃で7月16日以来の20℃未満。

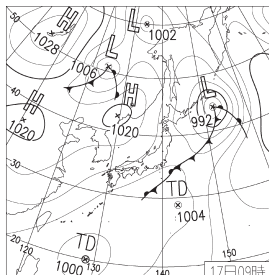


15日(日)奈良市でモズ初鳴
西日本～東日本は概ね晴れて気温が上がり、広く真夏日に。南西諸島は日本の南の低気圧の影響で、北日本は前線の通過により雨や曇り。関東も夜には前線の影響で雨。



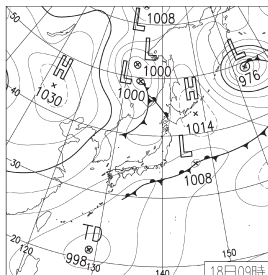
16日(月)東海で猛暑日

低気圧や気圧の谷の影響で関東～北日本は曇りや雨。沖縄～西日本、東海は概ね晴れ。東海で気温が顕著に上昇し、岐阜県多治見で最高気温36.3℃など7地点で猛暑日。



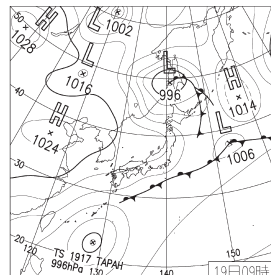
17日(火)低気圧は千島近海へ

山陰から北陸は湿った空気により雨。その他の地方は大陸の高気圧が北日本を中心に広く覆い概ね晴れたが、北海道はオホーツク海側中心に低気圧の影響ではじめ雨。



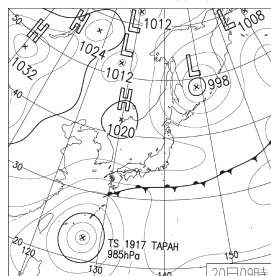
18日(水)東～北日本は曇りや雨

西日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。東日本は本州南岸の秋雨前線、北日本は沿海州の低気圧から南にのびる前線の影響で、曇りや雨。東京都八丈島では日降水量192.5mm。



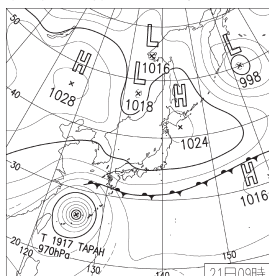
19日(木)台風第17号発生

寒冷前線の通過した北海道に寒気が南下し日本海側を中心に雨。北海道は最高気温が平年より8℃以上低い所も。沖縄・奄美は熱帯低気圧や台風第17号の影響で曇りや雨。



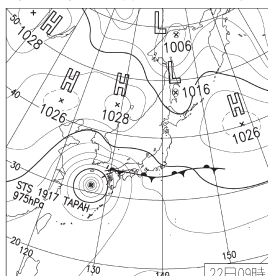
20日(金)利尻山で初冠雪

台風第17号は先島諸島の南東をゆっくり北上。日本の南海上に前線が停滞し、南西諸島から西日本で雨。鹿児島県上中で78mm/1h。北海道には寒気が入り、日本海側中心に雨。



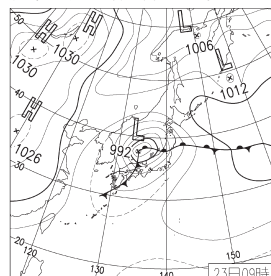
21日(土)沖縄で暴風雨

大型で強い台風第17号により沖縄は暴風雨。沖縄県波渡嘉敷で最大瞬間風速47.7m/s。西日本～東日本は前線や湿った空気の影響で雨や曇り。宮崎県赤江で109.5mm/1hの猛烈な雨。



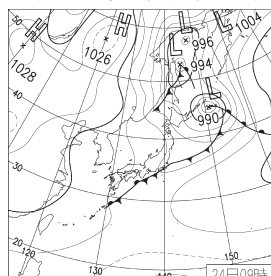
22日(日)西日本で大雨や暴風

台風第17号が九州の西から対馬海峡を北東進。西日本～東北は雨や曇り。徳島県木頭の80.5mm/1hは9月1位の値を更新。長崎県大村の最大瞬間風速39.1m/sは史上1位を更新。



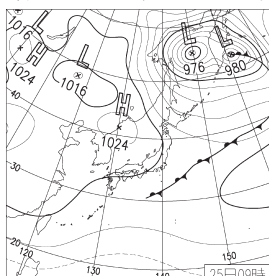
23日(月)台風は温帯低気圧に

台風第17号は日本海で温帯低気圧に。北日本は雨。西日本～東日本も所々雨で、各地で南よりの強風。鳥根県浜田で最大瞬間風速35.3m/s。新潟県大潟で35.7℃など北陸は猛暑日に。



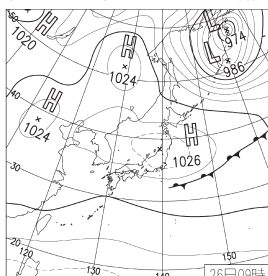
24日(火)広島市でヤマハギ開花

千島近海の低気圧からのびる前線に近い四国～東日本は所々で雨。その他は晴れや曇り。西日本や北陸は寒気の影響で気温が上がらず、最高気温が10月中旬並の所も。



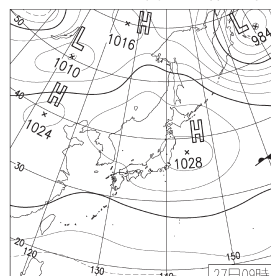
25日(水)北海道で強風

移動性高気圧に覆われてほぼ全国的に晴れ。東海地方中心に真夏日の所も。北海道はオホーツク海の発達した低気圧の影響で風が強く、宗谷岬では最大風速19.6m/s。



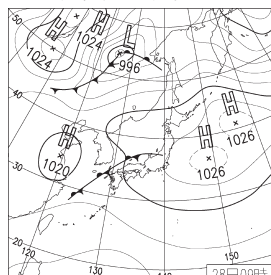
26日(木)今季初の霜と氷点下

沖縄～九州は気圧の谷の影響で曇りや雨。その他は高気圧に覆われて晴れ。冷え込みが強まった北海道では、旭川で初霜のほか、標茶の最低気温が-1.6℃となり今季全国初の冬日。



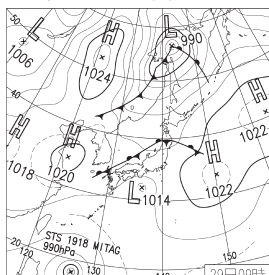
27日(金)九州は厳しい暑さ

東～北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。沖縄・奄美～西日本は湿った空気の影響で曇りや雨。最高気温は熊本34.8℃をはじめ、九州を中心に東日本以南の107地点で真夏日。



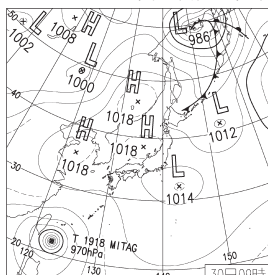
28日(土)日本海に停滞前線

日本海の停滞前線や高気圧からの湿った空気の影響で西日本～東北の所々で雨。宮崎県延岡で78.5mm/1h。北海道は高気圧に覆われ概ね晴れ。フィリピンの東で台風第18号発生。



29日(日)前線の停滞続く

沖縄・奄美は台風第18号周辺の湿った空気の影響で曇りや雨。西～北日本は本州付近に停滞する前線や気圧の谷の影響で所々雨。全国的に気温が高く、西日本中心に真夏日の所も。



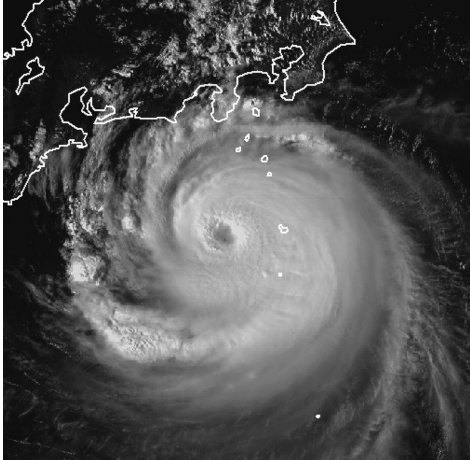
30日(月)先島諸島に台風接近

台風第18号が夜に先島諸島に最接近。沖縄県石垣島で最大瞬間風速43.2m/s、波照間で83mm/1hの猛烈な雨。西日本は気圧の谷の影響で次第に雨。東～北日本は概ね晴れ。



今月のひまわり画像—2019年9月

千葉県に甚大な強風害をもたらした台風第15号

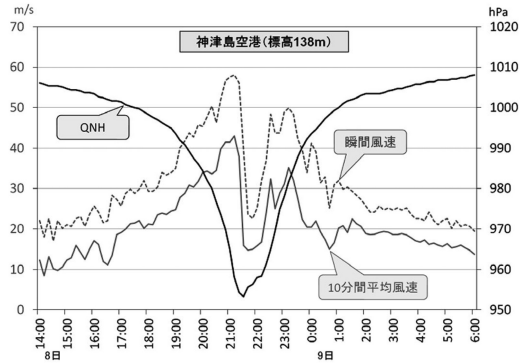


第1図 2019年9月8日15時（日本時間）の伊豆諸島付近における可視画像。

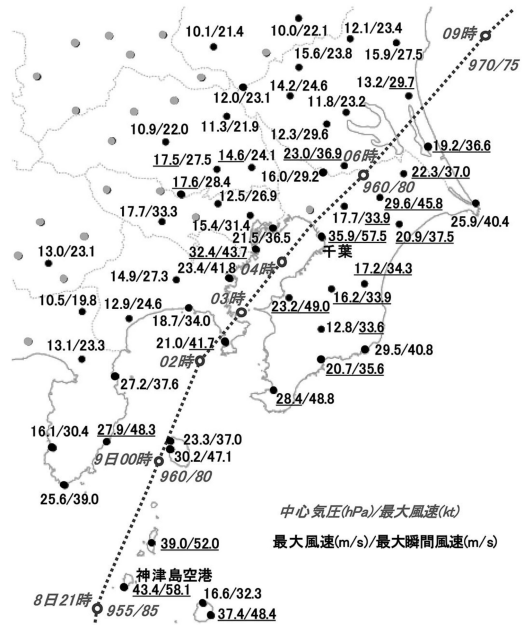
第1図は2019年9月8日15時（日本時間）の伊豆諸島付近における可視画像である。同諸島付近を北上している台風第15号の中心付近の雲域は直径300km程度と小さいが、眼がくっきりとしている。この時刻の最大風速は、衛星画像から推定するドボラック法によると85kt（1kt≒0.51m/s）で、非常に強い勢力となっていた。この海域は黒潮が南から北へ流れていて、海面水温が約29℃と高く、台風は勢力を維持したまま、同日21時30分頃に神津島付近を北上した。第2図は神津島空港における10分毎のQNH（高度計規正值で海面気圧とはやや異なる）、10分間平均風速、瞬間風速の時系列図で、同空港にアイウォールがかかった21時頃に最大風速43.4m/s、最大瞬間風速58.1m/sが観測された。今回のようなスケールが小さくても強い勢力の台風のことを、予報現場では「ミジェット型」の台風と呼んでいて、台風中心付近の気圧の傾きが急峻であることが特徴で、急激に風速が強まるために警戒を要する。

台風第15号は強い勢力で東京湾を北上し、9日05時前に千葉市付近に上陸して鹿島灘へ抜けた。台風中心付近やその東側に入った地域で通年の極値を更新する暴風となり（第3図）、強風害や波浪害が発生した。特に千葉県では家屋の損壊が3万5千棟を超え、電柱の倒壊などで長期間の停電が生じて生活に大きな影響を与えた。

（気象庁予報部予報課 原 基）



第2図 8日14時～9日06時の神津島空港における10分毎の気圧（QNH）、10分間平均風速、瞬間風速の時系列図。



第3図 台風第15号の関東地方付近における経路図（記号○と点線）及び最大風速10m/s以上が観測されたアメダス地点の最大風速、最大瞬間風速（左が最大風速、右が最大瞬間風速（m/s）で、下線が付加された値は観測史上1位であることを示す）。